

都市を冷やすフラクタル日除け

都市のヒートアイランドは、身近な問題だけに、どうしても私たち人間の視点で考えがちです。しかし、これも、太陽からエネルギーを得て活動する地球の営みの一つですから、地球全体のエネルギーバランスを抜きには語れません。地球科学的な視点から、身近なヒートアイランド問題を考えると、これまでとは、ちょっと違ったことが見えてきます。ここでは、地球が最初に太陽のエネルギーを受け取る「地表面の形」が、その熱バランスを大きく左右するという意外な事実について解説します。

都市では人間がたくさんエネルギーを使うから暑くなるのだ、という説明がされることがあります。しかし、人間が出しているエネルギーは太陽エネルギーに比べれば、それほど大きくはありません。また、都市には植物が少ないので、蒸散効果で温度を下げるできないのだ、という説明もあります。しかし、これも太陽エネルギーに比べれば、それほど大きな効果はありません。やはり、太陽エネルギーをどう処理するかということが、大きなポイントです。樹木はこの自然のエネルギーの流れをうまく使って生きています。やっぱり、自然は偉大ですね。



2014年 1月31日(金) 16:30~18:00

慶應義塾大学日吉キャンパス 来往舎2階 大会議室

参加費：無料（学生・塾外の方の来場歓迎）

天災・交通事情など予期せぬ事態により変更・中止となる場合がございます。

その場合、下記のウェブサイトでご案内しますので、事前にご確認下さい。



講師：酒井 敏氏

◇京都大学 人間・環境学研究所 相関環境学専攻 自然環境動態論講座 地球環境動態論 教授

京都大学理学部卒、理学博士

専門：地球流体力学

主な著書：「都市を冷やすフラクタル日除け」成山堂書店

慶應義塾大学 自然科学研究教育センター事務局（日吉キャンパス来往舎1階）

〒223-8521 横浜市港北区日吉4-1-1

Tel:045-566-1111

URL:<http://www.sci.keio.ac.jp/>

E-mail:office@sci.keio.ac.jp